

登録コード	BSD92575	開講年度	2026				
授業題目	生体医工学特別実験（22BS以降）				担当教員	岩本 憲泰	
英文授業名	Advanced Experiments in Biomedical Engineering				副担当		
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える健康・福祉・医療・創薬分野の高度な専門知識と実践的技術力				【授業の達成目標】 (A) 実験実習を通じて基本的な実験技術, 実験結果の解析技術を身に着ける		
	【専攻】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				【授業の達成目標】 (B) 実験結果, 解析結果を俯瞰して, 実験方法の適切さや現象を考察できる (C) 実験結果を適切に報告する能力を身につける		
(2)授業の概要	担当教員（所属研究室）の専門分野に関する, 受講生ごとに与えられた課題に対して自ら実験方法を考え, 実験に取り組む. また実験の手法や結果, 考察をまとめ, 発表ないしは報告し, 教員や他の受講生と実験方法や考察の適切さ, 改善方法に関して討論を行う.						
(3)授業計画	担当教員が指定した計画に基づいて履修する. 内容は修士論文テーマなどと連動している場合が多い.						
(4)成績評価の方法	授業のねらいに記載された（A）から（C）の項目を以下の項目に基づいて総合的に評価する. 【評価項目】 (1) 実験目的に対して適切な精度の測定装置, 実験装置を選択できている. (2) 実験目的に対して実験方法が適切なアプローチである. (3) 実験時における懸念事項を想定することができ, その要因を排除した実験プロトコルをたてることができる. (4) 測定装置, 実験装置の基本的な使用方法が習得できている. (5) 報告書内で実験方法について詳細に記述されている. (6) 報告書内で実験結果, 測定結果をグラフもしくは表として示し, その結果について文章化できている. (7) 実験に対して解析手法を適切に選択し, 報告書内で解析手法に関する説明がなされている. (8) 報告書内で解析結果をグラフもしくは表として示し, その結果を文章化できている. (9) 報告書の考察内にて他の文献が考察の根拠として適切に引用されている.						
(5)成績評価の基準	成績評価の方法で記載した項目の中で, 以下の必ず満たしていなければならない項目が達成できている場合「合格水準にある」, 報告後の議論を基に改善されていればよい項目が1つ達成できている場合「やや上にある」, 報告後の議論を基に改善されていればよい項目が3つ達成できている場合「かなり上にある」, 報告後の議論を基に改善されていればよい項目が4つ以上達成できている場合「卓越している」. (3), (4), (5), (6) : 必ず満たしていなければならない. (1), (2), (7), (8), (9) : 報告後の議論を基に改善されていればよい.						
(6)事前事後学習の内容	毎週実験とその報告書作成に対して3時間以上を費やすこと. 15週を通して計45時間以上となること.						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	担当教員の指示に従うこと.						
(9)その他							
【教科書】	必要に応じて適宜指定する.						
【参考書】	必要に応じて適宜紹介する.						